

## 踏み跡 < My mountains >

日光	戦場ヶ原から太郎山	No.090
----	-----------	--------

昭和42年7月16日

東武線の山岳夜行電車を利用する山行はこれが初めて。同行は、恩田・泉田・太田・阿部の四人。この電車は深夜に日光駅に着いた後、バスが出る5時過ぎまで車内で眠れるようになっているのが特徴。欠点は蒸し暑い浅草駅で雑然と並んで待たされたことか。

浅草発0時30分、席は確保できたが、眠るためにはやはり床に横になる必要があった。

日光駅で5時15分まで眠った後下車。湯元行のバスも全員が座れるように配慮されており、国鉄と私鉄の対応の違いを感じた。(浅草～日光の運賃は440円)

バスは日光駅を5時30分に発車(180円)。6時40分戦場ヶ原の中央部の三本松で下車。

夏とは言えど海拔1400mの朝は肌寒さを感じる。

間近に立ちのぼる男体山の大きさには圧倒される。

光徳牧場を過ぎてしばらく続く森林の美しさは蓼科高原に似た素晴らしさ。白樺もあり、気持ちの良い林が



連なっている。森林を抜けた所は緩やかな傾斜の原っぱで、大きな花を付けたホタルブクロがそこかしこに咲き誇っている。

目の前の太郎山と山王峠への稜線は見上げる高さ。ガスに曇った水っぽい空気の中を太郎山へ。

汗が肌にじっとりへばりつくような陰気な暑さ、遠くの景色も見えず楽しみは足元の大小の花の群れぐらい。

太郎山(2367m)10時30分。山頂で約一時間の食事。11時35分出発。

頂上直下の湿原は、話には聞いていたが予想以上の広さ。小雨の中、ポンチョを被ったまま腰を下ろすと、コバイ

ケイソウの硬い蕾がすぐ隣に寄り添ってくれた。一面に咲き乱れる花畑となった時のことを思い浮かべると、うれしくなってくる。



下りは志津林道を経て15時10分に三本松に帰着。日光発17時03分の電車で帰った。途中で三人を相手に、「地図と磁石による現在位置確認方法」の講習会などもやり、和気藹々の楽しい一日だった。(上写真:泉田君に地図の見方を伝授)

以上